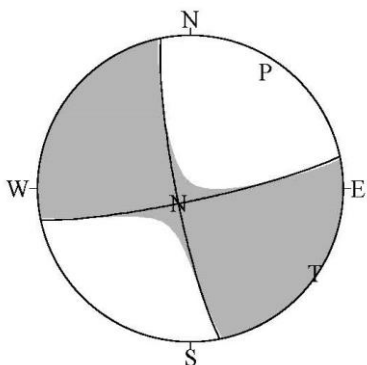


2月9日 ホンジュラス北方の地震 (W-phase を用いた発震機構解析)

W-phase による解

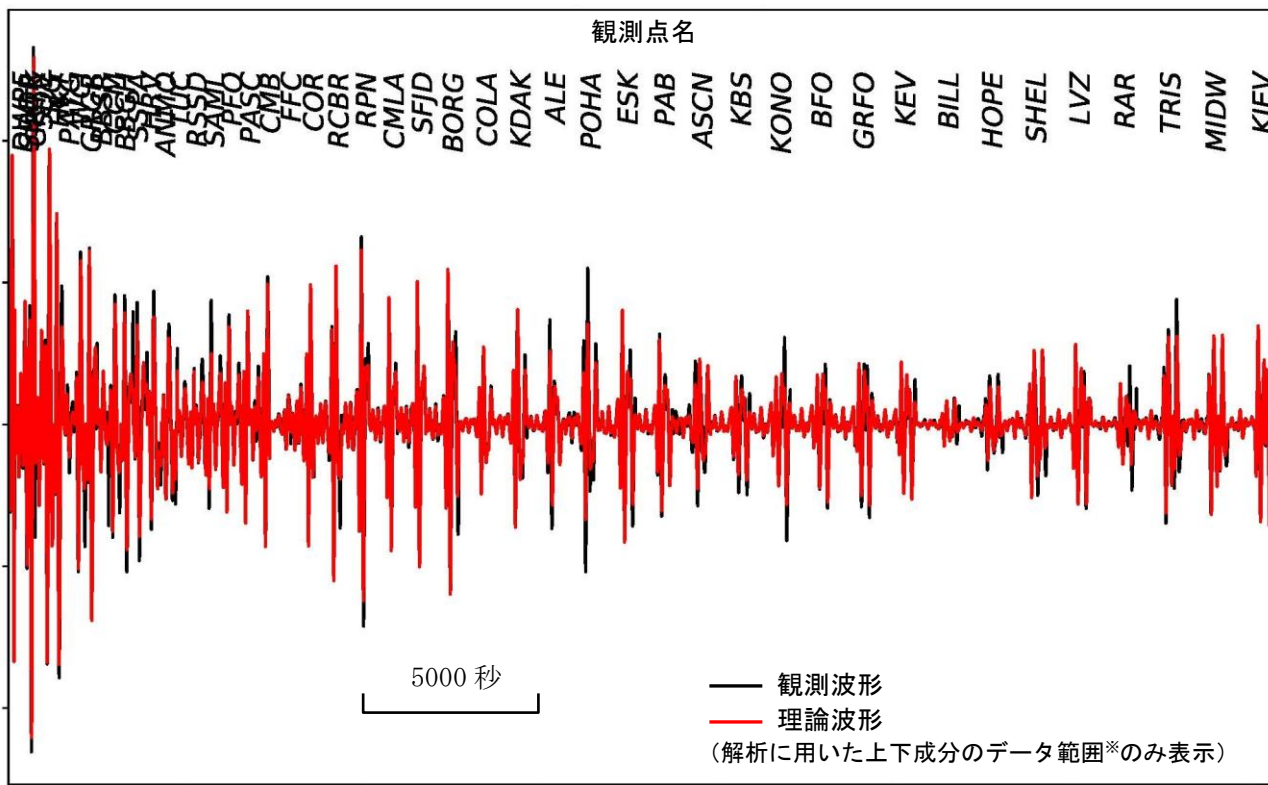


2025 年 2 月 9 日 08 時 23 分（日本時間）にホンジュラス北方で発生した地震について W-phase を用いた発震機構解析を行った。発震機構、Mw とも、他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mw は 7.6 であった。なお、W-phase の解析で求めた震源は北緯 17.9°、西経 82.7°、深さ 10km となった。

W-phase の解析では、震央距離 $10^{\circ} \sim 90^{\circ}$ までの 48 観測点の上下成分、47 観測点の水平成分を用い、100~300 秒のフィルターを使用した。

注) W-phase とは P 波から S 波付近までの長周期の実体波を指す。

Mw	M ₀	断層面解 1 (走向／傾斜／すべり角)	断層面解 2 (走向／傾斜／すべり角)
7.6	3.04×10 ²⁰ Nm	168.9° / 82.3° / -173.3°	78.0° / 83.3° / -7.8°



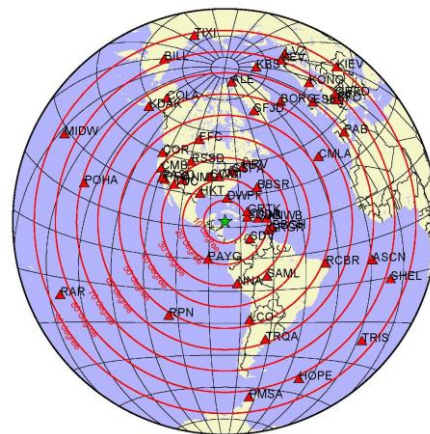
※解析に用いたデータの範囲は15秒×震央距離(度)としており、
各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

(W-phase に関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera, 2008, *Geophys. J. Int.*, **175**, 222-238.

解析データには、米国大学間地震学研究連合（IRIS）のデータ管理センター（DMC）より取得した広帯域地震波形記録を使用した。

また、解析には金森博士及び Rivera 博士に頂いたプログラムを使用した。記して感謝する。



解析に使用した観測点配置

気象庁作成